

地域再生計画 事後評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称	甲斐の国富士東部地域再生計画		
施行主体	山梨県、都留市、上野原市、忍野村、小菅村		計画期間	平成27年度～令和2年度		
地域再生計画の概要	<p>山梨県の東部及び南東部に位置する富士東部では人口減少及び高齢化の進行に加えて、道のネットワークが未整備であることから北部の雁ヶ腹摺山や小金沢溪谷等の豊かな自然と葛野川・深城ダム等の観光資源、また世界文化遺産に登録された富士山などの観光資源を十分に生かせず地域活力の低下の要因となっている。そのため、市道及び林道の一体的な整備に加えて、情報発信、地域交通対策等の観光に係る取組を行うことにより、林業経営の効率化、観光地間のアクセス利便性を向上させ、観光客の増、森林資源の増などの地域再生を図る。</p>					
地域再生を図るために 行う事業	<p>北部においては、大月インターチェンジから溪谷美豊かな雁ヶ腹摺山・葛野川ダムや深城ダム方面へのアクセスを目的として、「林道奈良子線」「林道真木小金沢線」の改良・舗装事業の早期の完成を図る。 さらに、東部においては来訪観光客の安全・安心な通行を確保するため、大月市と南都留郡道志村とを結ぶ「市営林道富士東部（北）線」、「市営林道富士東部（南）線」の整備を図る。 中部は、大月・都留インターチェンジから山梨県立リニア見学センターのアクセス向上を目的として、都留市の「市道大原線」の整備を行い観光アクセス道路として、整備する。 これらにより、富士東部エリア全体として市道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。 加えて、森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性の向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、全体的に地域に潤いがもたらされる。</p>					
主な計画道路の 整備状況写真	林道 奈良子線 (着工前)	(R2末時点)	林道 鹿留線 (着工前)	(R2末時点)	都留市道 大原線 (着工前)	(R2末時点)
						
主な計画道路の 整備状況写真	市営林道富士東部（北）線 (着工前)	(R2末時点)	林道 細野鹿留線 (着工前)	(R2末時点)	道の駅つる H28.11.5オープン	
						